

本時のねらい

○俳句におけるよりよい表現の仕方を考える。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・オクリンクで全体共有することで、俳句の表現に注目することができる。
- ・オクリンクで友達の考えに触れ、俳句の表現を豊かにすることができる。

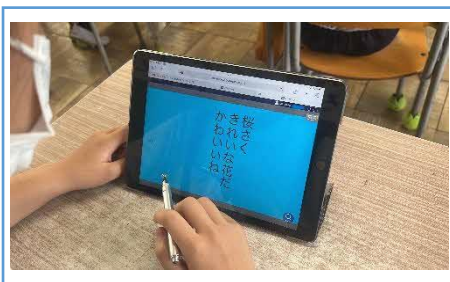
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・iPad ミライシード (オクリンク) ・Goodnotes

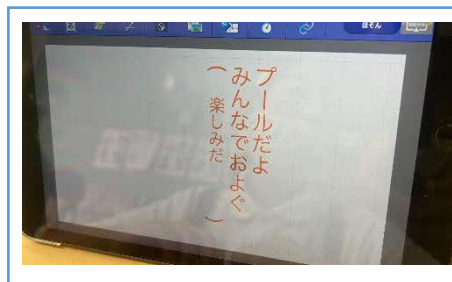
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○オクリンクに送られた2つの俳句を見て、どちらの俳句がよいか考える。 『桜の花 ピンクにそまる えがおさく』 『桜さく きれいな花だ かわいいね』 ○本時のめあてを確認する。 <u>より良い表現の仕方を考えよう</u> 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を始める前に子どもたちにカードを送っておく。 ・視覚的にわかりやすいようにカードに色を付けておく。 ・オクリンクで全体共有することで、表現の仕方や内容についての視点を増やす。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○俳句の下の句を考えオクリンクにおくる。 ・俳句を二句用意し、好きなほうを選ぶ。 ・一句出来たら二句目も考える ○なぜその五音にしたのか理由を話し合い、俳句の感じ方が人によって違うことに気づく。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ○カードに言葉だけでなく、絵を書くことも認め表現の幅を広げる。 ○オクリンクで比較機能を使い、瞬時に共有する。友だちの選んだ言葉の意味を考えながら意見の交流を行い、それぞれの感じ方の違いに気づくようにする。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りを Goodnotes に記入する。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○Goodnotes で振り返りを蓄積することによって、前時との変容に気づき、次時への意欲を高める。

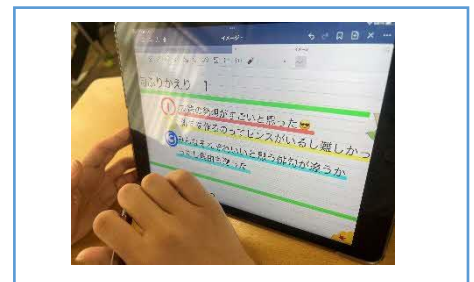
1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】どちらの俳句がよいか考える



【写真2】俳句の下の句を考える



【写真3】振り返りを Goodnotes に記入する

児童生徒の反応や変容

- ・導入では、色分けしているのでも、どちらの句を選んだのか視覚的に捉えやすくなる事ができた。
- ・オクリンクを使い、友だちが作った俳句がすぐに見ることができ、感じ方がそれぞれ違うことにすぐに児童が気づいた。
- ・Goodnotesでの振り返りには、友だちの五音の句のよさを感想に書いている児童が多かった。
- ・クラスの一日の振り返りを俳句で表す児童もあり、俳句をつくる楽しさを実感していた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・タブレット端末を使うことで、多くの友だちの考えを見ることができ、共有した表現の仕方を自分の考えに活かすことができる
- ・相互参照や相互評価をすることができるので、お互いの考えを認め合い、共有できる喜びを知るなど、自己肯定感の向上につながる。